

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学(中間・結果)報告書

私の10か月のカナダ留学が終了した。私はこの留学で、カナダの自然環境について学んできたいと思っていた。しかし、私の留学先のアルバータ州・カルガリーは都会で、ステイした家はたくさんある住宅街の一つにある。また、カルガリーには広々とした公園などは多くあるが、山や森林などの自然は見られない。一度友達とスキーに行ったが、そのスキー場から見た景色は、地平線まで平原と住宅が続くばかりで、森や林は見えなかった。山梨では山や森を見るのは当たり前であったので、ここでの生活は、自然に触れることはもちろん、見る機会も少ないため、私自身はとても驚いている。しかし私はカルガリーという都市の自然・環境に対する意識を調べれば、それがカナダ全体に共通する意識になると考え、学んでみようと思った。

私がカルガリーで10カ月過ごしていて気づいたことがある。それは「First Nations」つまり先住民族に対する敬意がとても高いことである。これは一見自然意識とは関係ないように思えるが、「First Nations」の生活様式は自然と密接な関係により成り立っている。現在、カナダ政府は先住民族の生活スタイル・文化の保全を奨励している。調べてみると、先住民保護区というところが設けられているらしい。私が受けた社会の授業は大きく「Globalization」について学ぶ授業であったが、「First Nations」について触れたり、例にとって説明を受けたりすることが多かった。

また、バンフ国立公園には、自然を楽しむ場所のほかに、「First Nations」の文化や生活を知ることができる施設がある。私は学校が企画したバンフのツアーに参加し、その施設を訪れることができた。そこでは、職員の方から、当時の住居のレプリカや動物の毛皮などを使って、カナダの自然での暮らしぶりの説明を受けた。そこで教えてもらったことで印象的な話があった。それは、『「First Nations」が生活していた頃はバッファローが多く生息していたが、開拓者が大陸に来てから毛皮や娯楽目的により、乱獲され数が激減してしまった。そのようなことはもう起こらないが、これから先、私たちは、彼らが生活していた時と同じ自然を守っていかないといけない。』ということである。私はこういった考えが、カナダの多くの人に根付いていると感じた。

これらのことから私は、カナダで「First Nations」に対する敬意が高いことを知ることができた。しかし、建国当初はカナダ政府と「First Nations」との関係は良好ではなく、同化政策などが先住民族に対し奨励または強制されることが続き、その1つは1970年代まで行われていたという。それにより「First Nations」との摩擦も多くあったそうだが、しかし最近では、カナダ政府が、同化政策の一環である「Residential Schools(寄宿学校)」を負の遺産であったとし、先住民に対し初めて公式に謝罪をした。また、「First Nations」とは直接関係ないかもしれないが、カナダの国歌が性別を問わない内容に一部変更されたことが先日報道され

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

た。カナダは、今もなお、すべての人を受け入れ、敬意を払う国家へと向かっていると感じた。

カナダに来てから面白いと思ったことや驚いたことがいくつかある。学校のバンフツアーで、初めてバンフ国立公園を訪れたとき、私のイメージではいくつかの施設とホテルがあるものだと思っていたが、実際そこは住宅地やスーパーマーケットなどがあり、小さな町として成り立っていた。もちろんレストランやブランド・お土産ショップなども多く存在し、観光客が泊りがけでも十分楽しめるよう充実している。無料のバスが行き来しているため大抵の移動にも困らなかった。バンフ国立公園は、歴史・文化・自然、そして人々の生活を組み合わせた上に成り立っており、この点に関して私は山梨の富士山と富士五湖周辺地域に似ていると思った。バンフ国立公園の経済効果や、自然への影響なども山梨と比較すると面白いと思う。

もう一つは、夏の間にかかる曇り空の多くは山火事の煙によるものだったということだ。もちろん、雨雲の場合もあるが、山火事の際は独特な濁った空模様になり、そういった日は少なくない。山火事の原因は、人間の不始末によるものと自然発生によるものがあるが、ここでの山火事のほとんどは自然発生によるものだと聞いた。カナダでは山火事によって空模様が変わることがあることと、その山火事の原因が自然発生によるものであることに驚いた。

今回のレポートでは私は、自然そのものではなく、自然への意識についてまとめてみた。私の留学生活の中で、特に「First Nations」に対する意識や彼らの文化はとても興味深かった。この留学を通して学べたことは多く、私にとってこの10か月はとても有意義な時間にする事ができた。将来留学で学んだことを生かしていく機会を作っていきたい。



山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書

